

秋田大学教育文化学部天文台の平成20年度活動について

About the activity of The astronomical observatory Faculty of Education and Human Studies, Akita University in 2008 fiscal year

毛利 春治 [1]

Shunji Mouri[1]

[1] 秋大・教文・地学

[1] Earth Sci., Akita Univ

<http://www.ipc.akita-u.ac.jp/~narita/au-at/>

はじめに

秋田大学教育文化学部には天文台があり、多くの天文設備を保有している。平成18年度より地域社会貢献の活動として、夜間天体観測会や天文講演会を実施している。本発表では、平成20年度に実施された天文イベントについて報告し、今後の活動について検討する。

秋田大学天文台概要

秋田大学教育文化学部の天文台は、1973年に設置された教育と研究のための施設である。施設を利用した研究活動は、天文学を専門とする教員が学部に所属していないために行われていない。教育活動は、学内の天体観測の実習に利用されている。主な設備は、35cm反射望遠鏡と教養基礎科目の設備補充により、口径10cmの屈折赤道儀9台である。天文台では、天文設備の利用拡大、大学施設の市民への開放事業、地域社会貢献活動として、平成18年度より市民向けの天文イベントを実施している。

平成20年度の活動内容

平成20年度は、年度当初に年間予定を作成して、計画的に天文イベントを実施した。夜間天体観測会は基本的に毎月第3土曜日に実施し、天文講演会と天文講座(天文ボランティア講習会)は隔月開催した。また、文部科学省の科学技術週間に登録イベントとして、全国的な天文イベント週間であるスター・ウィークの協力団体として、大学祭の期間に合わせる形でイベントを実施した。科学技術振興機構の平成20年度地域科学技術理解増進活動推進事業「地域活動支援」の支援により、天体望遠鏡を活用した総合的な天体観測の実習、天体観測講座「天体望遠鏡をつくって天体観測をしよう」のイベントを実施し、財団法人天文学振興財団の協力団体による天文普及活動への助成により「秋田大学天文クラブネットワーク」の事業を実施した。天文台が主催した事業以外では、秋田大学子ども見学デー、秋田県総合教育センターの理科好きの児童生徒を育てる指導、県内の中学校1校と市内の高等学校1校の学校訪問において、天文台施設を利用した活動を実施した。また、秋田大学の年度計画推進経費の予算により、国立天文台が開発している4次元デジタル宇宙プロジェクトのシアターを導入して、夜間天体観測会で曇天のために天体観測が行えない場合にシアターの上映を行った。

今後の活動

平成21年度は天文学についての話題が多い一年である。国際連合、国連教育科学文化機関ユネスコ、国際天文学連合が定めた世界天文年であり、日本では7月22日に皆既日食が起こる。また、秋田大学の天文台は、天文ドームの補修が行われ、大型の研究用天体望遠鏡が導入される予定である。これを機に、より多くの市民に天文台に来てもらえるような活動を展開していくことが重要である。天文台を中心にして地域の天文教育普及活動児童生徒の理科の学習効果を高めるための学校教育現場で活用できるような学習指導要領に沿った学習教材・プログラムの開発、市民の科学リテラシーを高めるための市民が継続的に活動を行えるような仕組みの整備を行い、地域から親しまれる天文台、また、魅力ある大学として地域社会に貢献していく必要がある。